

第2回 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年4月25日(金) 午前9時00分から午後0時30分まで
開催場所	泉区役所4階4ABC会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 村井 祐一 (田園調布学園大学副学長・人間福祉学部教授)</p> <p>委員 秋葉 輝夫 (下和泉地区民生委員児童委員協議会会長)</p> <p>有坂 太志 (泉区介護支援専門員連絡会代表)</p> <p>泉 直子 (泉区地域子育て支援拠点すきっぷ前施設長)</p> <p>上原 敏博 (中田連合自治会会長)</p> <p>浦 恭子 (東京地方税理士会戸塚支部)</p> <p>貝沼 貞夫 (社会福祉法人横浜市泉区社会福祉協議会会長)</p> <p>(緑園連合自治会会長)</p> <p>辛島 直恵 (和泉中央地区社会福祉協議会会長)</p> <p>濱野 佐知子 (横浜市泉区在宅医療相談室管理者)</p> <p>林 里美 (泉区障害福祉自立支援協議会会長)</p> <p>【事務局】</p> <p>泉区福祉保健センター長 瀧澤 朋之</p> <p>泉区高齢・障害支援課長 石田 登</p> <p>泉区福祉保健課長 岩井 裕子</p> <p>泉区福祉保健課事業企画担当係長 大井 翔</p> <p>泉区福祉保健課事業企画担当 大山 翔子、伊藤 貴</p>
欠席者	なし
開催形態	非公開
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 審査方法について 2 応募団体の面接審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 (2) 応募団体の面接審査 3 指定候補者の選定、講評
決定事項	<p>指定管理者の候補者として、次のとおり、横浜市泉区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市踊場地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人神奈川県匡済会 次点候補者：なし 2 横浜市いずみ中央地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし

	<p>3 横浜市いずみ野地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p>1 事前確認事項</p> <p>事務局から、本日選定を実施する3施設について、公募の結果、各1団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の2点について確認した。</p> <p>○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み)</p> <p>○審査方法について (事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 <p>2 応募団体の面接審査</p> <p>(1) 横浜市踊場地域ケアプラザ</p> <p>ア 応募団体の資格要件等、前期実績報告書、財務状況評価の説明 事務局より応募団体の資格要件等について説明。 事務局より前期実績報告書について説明。 浦委員より財務分析結果報告書について説明。</p> <p>イ 面接審査</p> <p>(ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明</p> <p>(イ) 主な質疑応答</p> <p>(委員) しらゆり地区外出支援勉強会の内容を、より具体的に聞きたいです。</p> <p>(団体) プレゼンテーションでも説明したとおり、しらゆり地区は複雑な課題を抱えている地区と認識しているので、今は、地域包括支援センター及び生活支援体制整備事業ともにしらゆり地区と重点的に関わっています。生活支援体制整備事業として開催している外出支援勉強会は、連合自治会会長、地区社会福祉協議会会長、民生委員・児童委員、区役所、区社協が出席し課題を出し合う場として進めており、これから課題へのアプローチ方法を検討していく段階です。地域包括支援センターでは、学識経験者の方にご参</p>

加いただき、地域診断を行いながら、「ユリアップ」という運動機能の向上につなげているので、ともにしらゆり地区へのアプローチですが、手法が異なります。

(委員) 居宅介護支援事業について、地域ケアプラザならではの取組はありますか。

(団体) 地域包括支援センターと一緒にケースに取り組むことや、ケースだけでなく家族単位で支援が必要な場合に地域包括支援センターと一緒にサポートし合いながら対応できるところが特徴と考えています。

(委員) 事業計画書の利用者のニーズ・要望・苦情への対応で記載されている利用者へのアンケートについて、アンケート結果やそこから分析した内容があれば教えてください。

(団体) 利用者アンケートは全市的に年1回実施しています。課題として対応が必要であれば区と調整しながら行いますが、実際のところアンケートを行っても意見はあまり出てこないのが現状です。その中でも意見が出てくれば真摯に対応しながら出来ることをやっている状況なので、細かい分析結果までは作成していません。

(委員) 踊場地域ケアプラザは戸塚区との区境に位置しますが、戸塚区民への利用の制限や問題等はないのでしょうか。

(団体) 踊場駅にある地域ケアプラザなので、戸塚区民もよく利用されます。地域活動交流事業においては、過去に横浜市へ確認したところ、他区民の利用制限はなく市民の方は誰でも利用できる施設と回答を貰っているので、基本的に制限は行っていません。ボランティアとして活動してくれる方も多く、一時期は戸塚区民の方が多かったくらいです。一方、地域包括支援センターという制度が出来た時に、担当圏域が設定されたため、戸塚区民からの福祉の相談をしっかりとお受けすることは難しくなったという現状があります。そのような場合も、ただ踊場地域ケアプラザでは対応できないと回答するのではなく、その方のエリアを担当する地域包括支援センターや関係機関等に繋げていくようにしています。また、デイサービスや居宅介護支援事業は、戸塚区民も利用できます。そのため、地域ケアプラザとしては、泉区だけでなく戸塚区の近隣の方も含めてエリアという意識を持っています。

(委員) 地域防災拠点の運営委員会は自治会町内会と違う組織ですが、運営委員会との連携という言葉が提案書類やプレゼンテーション資料には出てきません。どのように関わっていますか。

(団体) 福祉避難所については、泉区内の福祉避難所連絡会が定期的に開催されており、出席しています。運営委員会は連合とは別ですが、

中田連合には災害の担当部会があるので連携しています。地域防災拠点との関わりについては、各学校に設置されることは把握していますが、具体的な動きは出来ていないので、これから進めなければいけないと考えています。

(委員) 災害時要援護者の制度があり、この部分には地域ケアプラザも関わってほしいので、地域防災拠点との連携もお願いします。

(委員) 財務に関して、法人の委託費の内容を教えてください。

(団体) 人材の委託費や給食会社への委託費を計上しています。人材の確保は難しく、地域包括支援センター3職種は特に難しいため、予算は確保していても、人材を充当できず執行できないというような事例もあり、変動があります。また、給食費についても、最近では食材費も値上がっているため、傾向として上振れしています。

(委員) 事業計画書で男女共同参画推進に関する記載がありませんが、プレゼンテーションの中では、長く勤務している職員も多いと説明がありました。男女共同参画推進について取り組んでいることはありますか。

(団体) 特別に取り組んでいることはありませんが、踊場地域ケアプラザは女性の方が多い職場です。職員が働きやすいよう、育休や介護系の休暇を積極的に取得してもらい、介護等を理由に辞めなければならぬといった状況にならないよう対応しています。

(委員) 踊場地域ケアプラザは地域包括支援センター職員の増員が2名の地域ケアプラザですが、増員職員の欠員が続いていた時期があります。直近や今後の見通しはどのような状況ですか。

(団体) 人員の確保はかなり厳しく現在も欠員状態となっています。退職ではなく、法人全体の異動が影響し、欠員となっています。求人は出しており、先日も面接を実施しました。地域包括支援センターの3職種でも主任ケアマネジャーや保健師の確保はかなり厳しいですが、地域包括支援センターの増員部分については職種の制限が緩和されており、踊場地域ケアプラザは増員2名なので、制限緩和の恩恵を受けています。欠員を解消できるよう努めています。

(委員) 地域ケア会議の実施状況を教えてください。

(団体) 令和6年度は、「しらゆり地区でいつまでも元気で暮らし続けるためにはどんな取組が出来るか」というテーマで開催しました。個別レベルでは、外出できなかった理由を分析し、歩行力や体力の低下による身体的な問題と、外出意欲の低下による精神的な問題のケースがそれぞれ2事例見つかったので、4事例をまとめて1回で取り上げ、検討しています。包括レベルでは、昨年11月に、

しらゆり地区の方とリハビリ職、薬剤師会、居宅介護支援事業所、デイケアの相談員等に集まっていたき、元気で外出し続けるためにはしらゆり地区でどんなことが出来ると良いか、どんなものがあると良いかを実現可否に関わらず意見として出してもらいました。その意見をふまえ、今後実現可能な範囲でどんなことが出来るのかについて、地域の方と検討します。

(2) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

- ア 応募団体の資格要件等、前期実績報告書、財務状況評価の説明
事務局より応募団体の資格要件等について説明。
事務局より前期実績報告書について説明。
浦委員より財務分析結果報告書について説明。

イ 面接審査

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) 連合自治会との協力関係はどのようになっていますか。

(団体) 各町内会、自治会の皆さまと連携が図れるよう、サロンには必ず顔を出すようにしており、連合町内会の方とも直接コミュニケーションを取るようになっています。常設サロンの「いこいの家」に伺った際は、地域の役員の方々と意見交換を行い、地域の情報を入手するとともに、地域ケアプラザの事業の周知を行っています。

(委員) プレゼンテーションの資料について、提案書類の事業計画書の該当部分が記載してあり、とても分かりやすかったです。前期の実績報告書について、令和5年度に8日間だけ欠員が発生していますが、なぜですか。

(団体) 育児休暇の取得による欠員が発生しました。

(委員) いずみ野地域ケアプラザにも応募していますが、近隣の施設を同じ法人で運営することによるメリットはありますか。

(団体) 法人で21か所の地域ケアプラザを運営しているため、人事異動や研修は地域ケアプラザ間や法人内で行っています。同じ区で2か所の地域ケアプラザを運営している区は3区ありますが、非常に情報共有を意識しており、エリア連携として密に打ち合わせを行い、地域で貢献できることを検討し進めています。

(委員) 地域ケアプラザ同士での人事異動は多く行われているのでしょうか。

(団体) 定期的な人事異動は、人材育成のためにも必要と考えています。一

方、近年は、地域に迷惑をかけないような異動の仕方を心掛けており、欠員の補充も行っていますが、職員の諸事情により急な退職があった場合等は、その後の人員配置に時間がかかっています。

(委員) 地域の課題として、子育てをしながら働く方が増えており、平日だけでは参加者が集まりにくいと分析されていますが、事業計画書に記載していない内容で、働く世帯に対する支援で具体的に考えることがあれば教えてください。

(団体) 今まで子育て世帯向けとして、父親を対象とする講座等を休日開催してきましたが、参加があまり見込めない状況が続いていました。そこで、子育てネットワーク等での話し合いから、求められるものが外遊びや母親の気持ちを解放できるような時間であることが分かったので、地域ケアプラザ単独ではなく、ネットワーク全体として子育て世帯のニーズを反映した事業を進めていきたいと考えています。

(委員) 事業計画書の自主活動化の支援の項目に記載のある「ぽんぽこパートⅡ」は、地域ケアプラザの事業ではなく自主活動化したのでしょうか。

(団体) 事業になかなか親子が集まらない状況だったので、ものづくりという強みを生かし、障害者余暇支援の「飛行船いずみ」で、障害者に向けての作品づくりや交流の場の提供において協力してもらおう方向で自主活動化しました。

(委員) 「地域子育て支援拠点すきっぷ」は、いずみ中央地域ケアプラザから近いのでチラシでの周知にも協力していますが、今の子育て世帯は文字からの情報よりも写真や動画を見て参加を決める方が多いです。提案書類やプレゼンテーション資料のように、子育て世帯に向けてはSNSの活用等を検討していただきたいです。また、事業計画書の子育て支援の項目に「地域子育て支援拠点すきっぷ」も出てきており、実際に実施事業の共有や周知の協力等を行っていますが、共催事業は行っていません。この記載方法だと、「みんなの絵本のおうち」だけでなく「地域子育て支援拠点すきっぷ」とも共催事業を行っているように読めます。

(委員) 地域ケア会議の実施状況を教えてください。

(団体) 令和6年度は、災害時の要援護者の避難等の課題をテーマに包括レベルを1回、一人暮らし高齢者が出来るだけ長く地域で生活できるようにしていくためにできることをテーマに個別レベルを1回開催しました。2回目の個別レベルの開催も予定していましたが、諸事情から地域の方の出席が難しくなったため、ケアマネ連絡会に変更し、一人暮らし高齢者への支援をテーマに検討しました。

- (委員) 包括レベルと個別レベルで運動性が高まると良いです。
- (委員) 多くの事業を行っているようですが、地域ケアプラザ主催の事業が多いのでしょうか。
- (団体) 子育てや障害に関する事業は、関係機関との共催が多いです。

(3) 横浜市いずみ野地域ケアプラザ

ア 応募団体の前期実績報告書の説明

事務局より前期実績報告書について説明。

※横浜市いずみ中央地域ケアプラザへの応募法人と同一団体のため、応募団体の資格要件等及び財務状況評価の説明は省略。

イ 面接審査

(ア) プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

(イ) 主な質疑応答

(委員) いずみ中央地域ケアプラザの提案書類やプレゼンテーションも似た内容でした。書類の作成にあたり、法人から指導が入っているのでしょうか。

(団体) 指定管理の選定は非常に重要な事項と考えており、本部も一体となって資料を作成しています。共通の様式を使っていますが、それぞれの事業については地域性や各地域ケアプラザの特徴を説明できるように中身を組み込んでいます。

(委員) いずみ野地域ケアプラザのエリアには高校が2校あります。高校生は地域活動の担い手にもなり得るし、福祉を学ぶことは将来を考えるための参考にもなると考えています。高校生のボランティアや高校生との交流はどのように行っていますか。

(団体) いずみ野地域ケアプラザの特徴として、ボランティアがとても多いことが挙げられます。学生に関しては、団体ではなく、地域に出向いたときに活躍している子どもを紹介してもらい、子どもの好きなことに関連するボランティアを個別にお願いしています。実際にボランティアをしてみて活動が楽しいと、また次も参加してくれます。秀英高等学校については、クラブ活動として協力をいただいています。また、最近は中学、高校と連携が取れており、地域ケアプラザの事業でボランティアが必要であれば、学校側で手配するという話もいただいています。

(委員) プレゼンテーション資料の地域ケアプラザ運営事業に「子ども達に安心して過ごせる場所を」と記載がありますが、「かけはし」と一緒

に何をしているのでしょうか。

(団体) 「かけはし」が活動の拠点を持つ前は場所を貸していました。かけはしが活動の拠点を構えた現在も連携を取っており、「多世代食堂」に「かけはし」の子どもに手伝っていただいております。また、「かけはし」が定員に達したため普段参加できない親子を対象とした事業を検討しているという話を受け、地域ケアプラザも何か協力出来るよう「かけはし」の代表と調整しています。

(委員) 事業計画書の男女共同参画推進に関する取組で記載のある数字は法人全体での数字でしょうか。また、男性の育児休暇の取得率が令和5年度は100%となっていますが、日数はどのくらい取得しているのですか。

(団体) 法人全体の数字です。育児休暇の日数は就業規則で上限を定めており、本人の意向をふまえ就業規則の範囲で決めています。

(委員) 認知症支援事業で実施している「フレンドハーモニーの和」について、特徴的な内容があれば教えてください。

(団体) 毎回、終了後に参加している若年性認知症の当事者が集まって次回の実施内容を決めています。最近は、お菓子づくりや散歩を参加者で行いました。また、昨年度は陶芸も実施しました。

(委員) 居宅介護支援事業について、「ケアマネフォンテ」で企画運営に携わっていただいておりますが、地域包括支援センターが主体になっている印象です。併設の利点を活かし、エリア内の居宅事業所を取りまとめる立場として、積極的に関与していただくことを期待します。

(委員) 地域ケア会議の実施状況を教えてください。

(団体) 昨年度はネットワーク構築型と自立支援型を開催しており、自立支援型は年4回で1回に2ケース取り扱うので8ケース実施、ネットワーク構築型も4回実施しました。包括レベルを3月に企画していましたが、中心になってもらう予定の地域の方の都合が悪くなったため中止しました。今年度は、地域のケアマネジャーから災害時のケアマネジャーの対応等について要望があったため、防災をテーマに実施します。

(委員) 個別レベルと包括レベルの整合性が取れると良いです。

(委員) 事業計画書の子育て支援で、母親の仲間づくりと孤立化を防ぐための事業として記載のある「ベビーマッサージ」や「ベビーヨガ」等について、開所当初から実施されていますが、仲間づくりに繋がっている姿は見受けられますか。

(団体) 仲間づくりが出来ているか正式に確認は出来ていませんが、連絡先を交換しているとは聞いています。

(委員) 公式LINEの活用について、拝見したところこれから投稿してい

くのだと思いますが、どのように広げようと考えていますか。また、効果測定はどのように行いますか。

(団体) 横浜市のモデル事業からスタートし、現在も継続しています。登録者は約 150 名で高齢者が多いです。先日、子育てネットワークのなかで新橋地区が公式LINEを活用し効果があったという話をしていたので、子育て世帯の方にもLINE登録をしてもらいたいと考えています。また、「地域子育て支援拠点すきっぷ」の公式LINEで発信してもらったところ、すぐに反応があったので、これからもご協力いただきたいと思います。効果測定はそのあとになると考えています。

(委員) 事業計画書の利用料金の収支の活用及び運営費の効率性についての省エネルギー対策の部分で、節水システムの導入や力率改善コンデンサーの設置という記載がありますが、具体的にはどのようなものですか。

(団体) デイサービスを実施している地域ケアプラザでは、入浴のサービスがあり、水道代がかなりかかります。節水コマを使用すると水量が絞れるため、年間経費で何十万と削減できるので、業者とも相談しながら導入を進めています。

(委員) 前期の指定管理業務の実績で発生した事故等の報告が今回は0件でしたが、法人として、小さなことでも誠実に発信している姿勢も高く評価しています。

3 指定候補者及び次点候補者の選定、講評

応募団体から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市踊場地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点	最低制限基準 得点/基準点
指定候補者	社会福祉法人 神奈川県匡済会	1,608/2,600点	1,578/1,416点 (66.9%)
次点候補者	なし	—	—

(審査講評)

- ・提案書類の事業計画書について、内容が審査員にも具体的に伝わるよう、視覚的に見やすくしていただきたいです。良い取組をたくさん行っているため、こうした取組の写真やデータ等を用いるなど、伝える工夫をしていただくことを期待します。

(2) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点	最低制限基準 得点/基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	1,836/2,600 点	1,727/1,416 点 (73.2%)
次点候補者	なし	—	—

(審査講評)

- ・障害のある方々への取組を積極的に行っています。障害者支援について、より魅力的な活動を展開するにあたり苦勞も多いと思いますが、協力できることは「泉区障害福祉自立支援協議会」としても協力させていただきたいです。

(3) 横浜市いずみ野地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点/満点	最低制限基準 得点/基準点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	1,806/2,560 点	1,694/1,392 点 (73.0%)
次点候補者	なし	—	—

(審査講評)

- ・法人として、発生した事故やトラブルを些細な内容でも公開している姿勢は非常に評価できます。
- ・引き続き地域と丁寧、そして分かりやすい運営をしていただきたいと思います。

応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人神奈川県匡済会及び社会福祉法人横浜市福祉サービス協会を指定候補者として選定することを決定する。

1 資料

- (1) 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会名簿
- (2) 横浜市踊場地域ケアプラザ応募団体の財務分析結果報告書
- (3) 横浜市踊場地域ケアプラザ応募団体の前期の指定管理業務の実績報告書
- (4) 横浜市踊場地域ケアプラザの指定管理者評価基準項目（評価シート）
- (5) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ応募団体の財務分析結果報告書
- (6) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザ応募団体の前期の指定管理業務の実績報告書
- (7) 横浜市いずみ中央地域ケアプラザの指定管理者評価基準項目（評価シート）
- (8) 横浜市いずみ野地域ケアプラザ応募団体の前期の指定管理業務の実績報告書
- (9) 横浜市いずみ野地域ケアプラザの指定管理者評価基準項目（評価シート）

資 料
・
特 記 事 項

	2 特記事項
--	---------------

特になし